
全自動掃除機(四百文字小説)

神村律子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

全自動掃除機（四百文字小説）

【コード】

N4501N

【作者名】

神村律子

【あらすじ】

部屋の掃除はこまめにしましょう。

私はもうすぐ三十路突入のOL。

何気なくフラツと立ち寄った駅前の家電量販店。

別に欲しいモノがあったわけじゃないんだけど。

ボンヤリとあちこちを眺めて歩いていると、目に飛び込んで来たモノがあった。

それは全自動掃除機。

汚れている箇所をセンサーで感知し、勝手に綺麗にしてくれるのだそうだ。

一人暮らしの上、男っ気がまるでない私のアパートの部屋はあと一歩でゴミ屋敷だ。

何だか無性にそれが欲しくなってしまった。

気がつくとも掃除機の箱を抱えて店を出ていた。

どこにも寄らずにアパートに戻る。

掃除機こいっの性能をどうしても見たくなつたのだ。

「これでOK」

私は掃除機を取り出し、充電器をコンセントにセットして、本体をその上に載せる。

ピピピッと音がし、充電が始まった。

しばらく床に頬杖を置いて、そいつが動き出すのを見ている事にした。

ピーッと充電完了の音が鳴り、奴が動き出す。

「ウギャッ！」

奴の最初の「獲物」は私の顔だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4501n/>

全自動掃除機(四百文字小説)

2010年10月8日14時22分発行